

ヘルシンキ滞在を終えて

理学系研究科物理学専攻村山研究室博士課程 1 年 多田祐一郎

私は 2014 年 10 月 1 日から 12 月 22 日までフィンランドにあるヘルシンキ大学の Kari Enqvist 教授の研究室に滞在した。Enqvist 教授は私の研究分野である素粒子的宇宙論の大家であり、また彼の研究室では私がよくお世話になる川崎雅裕教授の研究室を卒業した関口豊和博士も活動している。

今回初めて海外の研究室で自分の研究について発表する機会を持つことができ、大きな経験となった。また滞在中、Enqvist 教授との議論を通じ、私が修士の頃から研究しているインフレーション宇宙に対するストカスティック的アプローチについて新たな知見を得ることができた。最後に関口博士とは、宇宙背景放射のスペクトル歪みに関して共同研究し、滞在中に新たな論文を提出することができた[arXiv:1412.4517 [astro-ph.CO]]。

他にも様々な研究者と交流を持つことができ、非常に有意義な海外派遣であった。これをきっかけとし、今後も交流を絶やさずセミナー等でまたヘルシンキ大学を訪問したいと思っている。